

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-24431

(P2002-24431A)

(43) 公開日 平成14年1月25日 (2002.1.25)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	1 3 6 5 0 2	G 0 6 F 17/60	1 3 6 5 B 0 4 9 5 0 2 5 C 0 6 4
H 0 4 H 1/00		H 0 4 H 1/00	U
H 0 4 N 7/173	Z E C 6 2 0	H 0 4 N 7/173	Z E C 6 2 0 D

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2000-211164(P2000-211164)

(22) 出願日 平成12年7月12日 (2000.7.12)

(71) 出願人 000001443

カシオ計算機株式会社

東京都渋谷区本町1丁目6番2号

(72) 発明者 仁瓶 朋之

東京都東大和市桜が丘2丁目229 番地

カシオ計算機株式会社東京事業所内

(74) 代理人 100093632

弁理士 阪本 紀康 (外1名)

Fターム(参考) 5B049 BB70 CC00 EE07 FF03 GG00

5C064 BA07 BB01 BB07 BB10 BC10

BC16 BD02 BD07 BD08 BD09

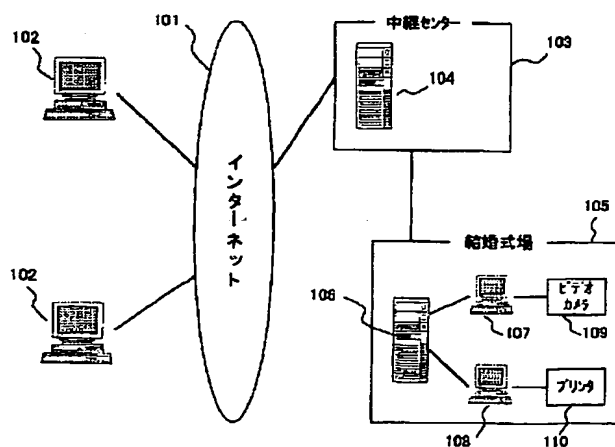
(54) 【発明の名称】 中継放送システム、及び記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 申込者が所望する中継放送をその申込者が所望する人（放送対象者）に対して行うことができる中継放送システムを提供する。

【解決手段】 中継センター103側は、結婚式場105を窓口として中継放送の申し込みを受け付ける。式場105にいるスタッフは、中継放送の対象とする式（結婚式、或いは披露宴）をビデオカメラ109で撮影し、その映像と音声を取り込む。そのカメラ109と接続された端末装置107は、それから入力した信号を映像と音声とに分けてデジタルデータに変換し、圧縮処理を施してサーバ106を介して中継センター103のサーバ104に送信する。サーバ104は、サーバ106から受信したデータを、インターネット101により接続された端末装置102に送信する。それにより、式に出席していない人に対して式の中継放送を行う。

本実施の形態による中継放送システムの構成を示す図



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 申込者が申し込んだ中継放送を該申込者が所望する放送対象者に対して行うためのシステムであって、

前記システムは、放送対象者が使用する第 1 の端末装置、前記中継放送用の第 2 の端末装置、及びサーバ、を備え、

前記第 1 の端末装置は、

前記サーバからネットワークを介して送信される放送用データを受信するデータ受信手段と、

前記データ受信手段が受信した放送用データが表す内容を再現するためのデータ再現手段と、を具備し、

前記第 2 の端末装置は、

申込者が申し込んだ中継放送により、現地で画像、及び音声の少なくとも一方を前記放送用データとして取り込むための放送用データ取込手段と、

前記放送用データ取込手段が取り込んだ放送用データを前記サーバに送信するデータ送信手段と、を具備し、

前記サーバは、

前記第 2 の端末装置から送信される放送用データを受信する放送用データ受信手段と、

前記放送用データ受信手段が受信した放送用データを、前記第 1 の端末装置に前記ネットワークを介して送信する放送用データ送信手段と、を具備する、ことを特徴とする中継放送システム。

【請求項 2】 前記サーバは、前記中継放送の申し込みのために入力されたデータを、該データの入力に使用された端末装置から受信して格納することで予約の登録を行う予約登録手段を、更に具備することを特徴とする請求項 1 記載の中継放送システム。

【請求項 3】 前記サーバは、前記中継放送するイベントに付帯する情報を前記第 1 の端末装置に送信する付帯情報送信手段を、

更に具備することを特徴とする請求項 1、または 2 記載の中継放送システム。

【請求項 4】 前記サーバは、前記第 1 の端末装置から放送対象者のメッセージを受信するためのメッセージ受信手段を、

更に具備することを特徴とする請求項 1、2、または 3 記載の中継放送システム。

【請求項 5】 前記サーバは、前記第 1 の端末装置から放送対象者による送金の申し込みを受け付けるための送金受付手段を、

更に具備することを特徴とする請求項 1～4 の何れか 1 項に記載の中継放送システム。

【請求項 6】 申込者が申し込んだ中継放送を該申込者が所望する放送対象者に対して行うためのシステムでサーバとして用いられる装置が実行可能なプログラムを記録した記録媒体であって、

前記中継放送の申し込みのために入力されたデータを、該データの入力に使用された端末装置から受信して格納することで予約の登録を行う手段と、

前記登録を行う手段により予約が登録された中継放送により、第 2 の端末装置から送信される放送用データを受信し、該受信した放送用データを、該申込者が所望する放送対象者の使用する第 1 の端末装置に送信することで中継する手段と、

を実現させるプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項 7】 申込者が申し込んだ中継放送を該申込者が所望する放送対象者に対して行うためのシステムでサーバとして用いられる装置が実行可能なプログラムを記録した記録媒体であって、

申込者が申し込んだ中継放送により、第 2 の端末装置から送信される放送用データを受信し、該受信した放送用データを、該申込者が所望する放送対象者の使用する第 1 の端末装置に送信することで中継する手段と、

前記中継する手段により中継放送されるイベントに付帯する情報を前記第 1 の端末装置に送信する手段と、を実現させるプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項 8】 申込者が申し込んだ中継放送を該申込者が所望する放送対象者に対して行うためのシステムでサーバとして用いられる装置が実行可能なプログラムを記録した記録媒体であって、

申込者が申し込んだ中継放送により、第 2 の端末装置から送信される放送用データを受信し、該受信した放送用データを、該申込者が所望する放送対象者の使用する第 1 の端末装置に送信することで中継する手段と、

前記第 1 の端末装置から放送対象者のメッセージを受信するための手段と、

を実現させるプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項 9】 申込者が申し込んだ中継放送を該申込者が所望する放送対象者に対して行うためのシステムでサーバとして用いられる装置が実行可能なプログラムを記録した記録媒体であって、

申込者が申し込んだ中継放送により、第 2 の端末装置から送信される放送用データを受信し、該受信した放送用データを、該申込者が所望する放送対象者の使用する第 1 の端末装置に送信することで中継する手段と、

前記第 1 の端末装置から放送対象者による送金の申し込みを受け付けるための手段と、

を実現させるプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、申込者が申し込んだ中継放送をその申込者が放送の対象として所望する人

(放送対象者) に対して行うための技術に関する。

【0002】

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】 冠婚葬祭などでは、会場を確保し、親族や親しい人などを客として招待して式（イベント）を催すのが一般的である。式を催す主催者側は、できるだけ多くの客を招待しようと望むのが普通である。しかし、予算や会場の規模などによる制約があるため、招待したいが招待できない人がでてくる場合が多いのが実情である。

【0003】 これまで、式に招待されなかった人や、その式に招待されても事情により出席できない人は、式の当日に電報を打ったり、後日、式の様子を録画したビデオテープなどを再生して見るようなことしかできなかった。しかし、そのようなことを行っても、式に出席するのを強く希望していた人にとっては、満足感はあまり得られない。このことから、より大きな満足感を得られるようにすることが望まれていた。

【0004】 録画を見てもあまり満足感を得られないのは、それがリアルタイムの映像ではないということが大きな原因であると考えられる。例えば結婚式では、その式を挙げる二人にとっては門出であることから、現在、その式を挙げているのであれば二人を祝福したいという気持ちが強く働く。これに対し、録画は、過去の映像であるため、過去に式を挙げたということを確認するような形となり、門出であるという捉え方はしなくなる。新鮮味は薄れ、感情の高ぶりは小さくなる。このようなことから、結婚式などのイベントの中継放送を望んでいる人は少なくないと考えられる。

【0005】 本発明の課題は、申込者が所望する中継放送をその申込者が所望する人（放送対象者）に対して行うことができる中継放送システムを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明の第1の態様の中継放送システムは、申込者が申し込んだ中継放送を該申込者が所望する放送対象者に対して行うためのシステムであって、そのシステムは、放送対象者が使用する第1の端末装置、中継放送用の第2の端末装置、及びサーバ、を備え、第1の端末装置は、サーバからネットワークを介して送信される放送用データを受信するデータ受信手段と、データ受信手段が受信した放送用データが表示内容を再現するためのデータ再現手段と、を具備し、第2の端末装置は、申込者が申し込んだ中継放送により、現地で画像、及び音声の少なくとも一方を放送用データとして取り込むための放送用データ取込手段と、放送用データ取込手段が取り込んだ放送用データをサーバに送信するデータ送信手段と、を具備し、サーバは、第2の端末装置から送信される放送用データを受信する放送用データ受信手段と、放送用データ受信手段が受信した放送用データを、第1の端末装置にネットワークを介

して送信する放送用データ送信手段と、を具備する。

【0007】 本発明の第2の態様の中継放送システムは、上記第1の態様における構成に加えて、サーバは、中継放送の申し込みのために入力されたデータを、該データの入力に使用された端末装置から受信して格納することで予約の登録を行う予約登録手段を、更に具備する。

【0008】 本発明の第3の態様の中継放送システムは、上記第1、或いは第2の態様における構成に加えて、サーバは、イベントに付帯する情報を第1の端末装置に送信する付帯情報送信手段を、更に具備する。

【0009】 本発明の第4の態様の中継放送システムは、上記第1、第2、或いは第3の態様における構成に加えて、サーバは、第1の端末装置から放送対象者のメッセージを受信するためのメッセージ受信手段を、更に具備する。

【0010】 本発明の第5の態様の中継放送システムは、上記第1、第2、第3、或いは第4の態様における構成に加えて、サーバは、第1の端末装置から放送対象者による送金の申し込みを受け付けるための送金受付手段を、更に具備する。

【0011】 本発明の第1～第4の態様の記録媒体は、共に、申込者が申し込んだ中継放送を該申込者が所望する放送対象者に対して行うためのシステムでサーバとして用いられる装置が実行可能なプログラムを記録したものであって、それぞれ、以下のようなプログラムを記録している。

【0012】 第1の態様の記録媒体は、中継放送の申し込みのために入力されたデータを、該データの入力に使用された端末装置から受信して格納することで予約の登録を行う手段と、登録を行う手段により予約が登録された中継放送により、第2の端末装置から送信される放送用データを受信し、該受信した放送用データを、該申込者が所望する放送対象者の使用する第1の端末装置に送信することで中継する手段と、を実現させるプログラムを記録している。

【0013】 第2の態様の記録媒体は、申込者が申し込んだ中継放送により、第2の端末装置から送信される放送用データを受信し、該受信した放送用データを、該申込者が所望する放送対象者の使用する第1の端末装置に送信することで中継する手段と、前記中継する手段により中継放送されるイベントに付帯する情報を前記第1の端末装置に送信する手段と、を実現させるプログラムを記録している。

【0014】 第3の態様の記録媒体は、申込者が申し込んだ中継放送により、第2の端末装置から送信される放送用データを受信し、該受信した放送用データを、該申込者が所望する放送対象者の使用する第1の端末装置に送信することで中継する手段と、第1の端末装置から放送対象者のメッセージを受信するための手段と、を実現

させるプログラムを記録している。

【0015】第4の態様の記録媒体は、申込者が申し込んだ中継放送により、第2の端末装置から送信される放送用データを受信し、該受信した放送用データを、該申込者が所望する放送対象者の使用する第1の端末装置に送信することで中継する手段と、第1の端末装置から放送対象者による送金の申し込みを受け付けるための手段と、を実現させるプログラムを記録している。

【0016】請求項1記載の発明では、申込者からの申し込みにより、現地で画像（映像）、及び音声の少なくとも一方を放送用データとして取り込み、その取り込んだ放送用データを、サーバを介して、そのサーバとネットワークで接続された第1の端末装置に送信する。それにより、申込者は、その第1の端末装置を通して、所望の中継放送をその第1の端末装置のユーザ（放送対象者）に対して提供することができる。

【0017】請求項2記載の発明では、中継放送の申し込みのために入力されたデータを、該データの入力に使用された端末装置から受信して格納することで予約の登録を行う。それにより、中継放送の申し込みのために入力されたデータに従った形でその中継放送を行うことができる。

【0018】請求項3記載の発明では、中継放送の対象とするイベントに付帯する情報を第1の端末装置に送信する。それにより、第1の端末装置のユーザは、その情報にアクセスすることができる。

【0019】請求項4記載の発明では、第1の端末装置からユーザ（放送対象者）のメッセージをサーバが受信する。それにより、申込者、或いはその代理人などは、サーバにアクセスするか、或いはそのサーバから所定の端末装置にメッセージを送信させることにより、そのメッセージを閲覧することができる。中継放送を行っている間、受信したメッセージを所定の端末装置に送信させるようにした場合には、申込者、或いはその代理人などは、場所にかかわらず、そのメッセージを迅速に閲覧することができるようになる。

【0020】請求項5記載の発明では、第1の端末装置からユーザによる送金の申し込みをサーバが受け付ける。それにより、第1の端末装置のユーザは、必要に応じて、随時、香典やお祝い金などを送金することができる。

【0021】請求項6～9記載の発明は、上述した発明の何れかを少なくとも適用したシステムの構築に用いることができる。

【0022】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照しながら詳細に説明する。図1は、本実施の形態による中継放送システムの構成を示す図である。

【0023】図1に示すように、そのシステムは、パー

ソナル・コンピュータ（以降、PCと略記する）、或いは携帯情報端末装置（PDA）などである端末装置102と中継センター103とをインターネット101で結び、その中継センター103と結婚式場105とを例えば専用線で結ぶことで構築されている。

【0024】その結婚式場105のシステム（以降、式場システムと呼ぶ）は、サーバ106に、ビデオカメラ109が接続された端末装置107、及びプリンタ110が接続された端末装置108を例えばLANにより接続させることで構築されている。特に図示していないが、会場単位で中継放送を行えるように、端末装置107は、複数、サーバ106と接続されている。他方の中継センター103にはサーバ104が設置されている。それにより、本実施の形態による中継放送システムは、結婚式場105で催される結婚式、或いは披露宴を、それに出席できなかった端末装置102のユーザに中継放送するものとして実現されている。

【0025】図2は、上記サーバ104の回路構成図である。そのサーバ104は、図2に示すように、全体の制御を行うCPU201と、キーボードやマウスとの通信、及びCD-ROMドライブなどとの間でデータの入出力を行う入力部202と、CPU201がワーク用に用いるRAM203と、インターネット101を介して他の装置（主に端末装置102）との間で通信を行う通信制御部204と、専用線を介して結婚式場105のサーバ106との間で通信を行う通信制御部205と、特に図示しない表示装置上に画像を表示させる表示部206と、プログラムや各種データ（後述する各種ファイルや地図データなどを含む）などを格納した記憶媒体207を有する記憶装置208と、を備えて構成されている。なお、例えば上記記憶媒体207はハードディスク、記憶装置208はハードディスク装置である。

【0026】以上の構成において、動作を説明する。上記中継センター103は、結婚式場105と提携した会社が、そこで催される結婚式、披露宴、或いはそれに出席する人の様子などを中継放送するために設置したものである。その提携により、中継放送の申し込みは、式場105側が式のオプションという形で結婚式の主催者（ここでは、主に結婚する二人）から受け付けるようになっている。中継にかかった費用は、申込者から、式場105を介して受け取るようになっている。

【0027】中継放送の申し込みを受け付けた式場105側は、例えば端末装置108から予め定めた項目にデータを入力し、そのデータ（登録用データ）を、サーバ106、及び専用線を介して中継センター103のサーバ104に送信することで、その中継センター103側に中継放送の申し込みを受け付けたことを通知する。その通知を受け取ったサーバ104は、予約番号、パスワード、及び中継ページ番号を生成し、記憶媒体206に格納しているユーザ登録ファイルに1レコード（予約レ

コード)を追加して、生成したそれらのデータ、及び式場105のサーバ106から受信したデータをそのレコードに格納する(図3参照)。それにより、中継放送の予約登録を行う。

【0028】生成したパスワードは、サーバ106に送信することで、式場105側が受け付けた申し込みを中継センター103側が受理したことを知らせる。それ以外には、申し込みを受け付けた中継放送を放映するための中継ページ(図4参照)を作成し、それを中継ページ番号と対応付けて記憶媒体206に格納する。その中継ページの他には、主催者の挨拶を紹介するページ、式を挙げる二人のプロフィールを紹介するページ、図5に示すメッセージ送信ページ、図6に示す送金ページ、及び確認事項選択ページなどを作成し、記憶媒体206に格納する。それらのページの格納先は、中継ページ中でリンク先として設定される。

【0029】その予約レコードには、図3に示すように、「予約番号」、「申込者名」、「住所」、「電話番号」、「メールアドレス」、「式場」、「式の会場」、「式の日時」、「式の時間」、「挨拶」、「要望」、「プロフィール」、「メッセージ」、「送金者情報」、「中継ページ番号」、「パスワード」、及び「中継費用」などの項目のデータ、或いはそれが格納されたファイル名が格納される。それらの項目のなかで、「申込者名」、「住所」、「電話番号」、「式場」、「式の会場」、「式の日時」、「式の時間」などは、例えば中継放送の申し込みの受け付け時に、式場105側からデータが送信されてくる項目である。「要望」、「挨拶」、「プロフィール(結婚する二人のもの)」は、例えば式の前日までに申込者(主催者)が式場105側に提示すれば良いものである。「メッセージ」、「送金者情報」の各項目には、申込者が中継放送を見るのを想定している人から送られてきたデータ保存用のファイル名が格納される。

【0030】中継センター103からパスワードを受信した式場105側は、それを申込者に知らせ、中継放送の申し込みが中継センター103側で受理されて予約登録されたことや、そのセンター103によるサービスを受けるにはパスワードの入力が必要であるといったことを説明する。そのパスワードを知らされた申込者は、それをサーバ104がサービスを提供するサイトのURL(Uniform Resource Locator)とともに、式には呼べないが中継放送は見たい人を中心に電子メール、電話、或いは郵便などの手段により知らせる。それにより、そのような人の中継放送を見るように促す。また、式に間に合うように、図3に示す「挨拶」や「要望」、或いは「プロフィール」といった項目のデータを式場105側に提示する。それらの項目のデータを用意し、サーバ104のURL、及びパスワードを知らせるべき人に知らせることで、その中継放送に関する申込人(主催

者)側の準備が終了する。なお、パスワードやURLは、招待しても出席できない人がでてくることを考慮して、招待状などに記載しても良い。

【0031】端末装置102は、例えばダイヤルアップによって公衆回線を介してインターネット101との接続サービスを行っているISP(Internet Service Provider)と接続させた後、サーバ104のURLを指定して接続を指示することでそのサーバ104と接続(リンクが確立)される。サーバ104は、そのURLを指定してアクセスしてきた端末装置102にトップページを送信する。

【0032】上記トップページには、「注文」、「中継」、「確認」、などの選択(メニュー)項目(リンクボタン)が配置されている。「注文」は商品の購入に係わるサービスの提供を端末装置102のユーザが要求するためのものである。「中継」はイベント(ここでは結婚式、或いは披露宴、など)の中継放送を要求するためのものであり、「確認」は中継放送の対象とするイベントに係わる情報の提供を要求するためのものである。

【0033】ユーザがトップページ上に配置された「注文」を選択(クリック)した場合、その選択項目を示すデータが端末装置102からサーバ104に送信される。サーバ104は、そのデータを受信すると、選択できる商品を掲載した商品掲載ページを端末装置102に送信する。その後は、「注文」を選択することで提供されるサービスの終了をユーザが指示するまでの間、端末装置102への操作に応じて、そのサービスを提供する。それにより、香典、或いはお祝い金などの形で送金した人などに対し、お返しの品を選んで発送させることができるようにしている。

【0034】ユーザがトップページ上に配置された「中継」を選択(クリック)した場合には、その選択項目を示すデータが端末装置102からサーバ104に送信される。サーバ104は、そのデータを受信すると、パスワードの入力を要求するページを端末装置102に送信する。その後は、端末装置102からパスワードを受信するのを待って、受信したパスワードをキーとしてそれを格納した予約レコードの検索を予約ファイルに対して行う。その検索の結果、受信したパスワードを格納した予約レコードを予約ファイルから抽出すれば、そのレコードに格納されている中継ページ番号で特定される図4に示す中継ページを記憶媒体207から読み出して端末装置102に送信する。該当する予約レコードを抽出できなければ、言い換えれば、ユーザが入力したパスワードが誤っていれば、その旨を通知した後、トップページを再度、端末装置102に送信する。

【0035】その中継ページには、図4に示すように、ビデオカメラ109で撮影された映像が表示されるウィンドウ401が配置され、その近傍には、選択項目(リンクボタン)として、「挨拶」、「プロフィール」、

「メッセージの送信」、「送金」が配置されている。これらの選択項目の何れかをユーザが選択（クリック）すると、サーバ104は対応するページを端末装置102に送信して、ユーザが所望するサービスを提供する。

【0036】式場105では、中継放送の対象となる式（結婚式、或いは披露宴）の開始を待って、式場105のスタッフ、或いは中継センター103から派遣されたスタッフがビデオカメラ109による撮影を開始する。その撮影を行わなければ、ウィンドウ401に表示させるべき映像は存在しない。このことから、その撮影を行っていない間は、ウィンドウ401にはその旨を伝えるメッセージを表示させるようになっている。

【0037】ビデオカメラ109による撮影が開始すると、それが取り込んだ映像や音声といった撮影内容を示す信号（例えばNTSC信号）が、それと接続された端末装置107に送られる。その端末装置107は、例えばビデオカメラ109から送られた信号を映像と音声とに分けてデジタルデータに変換し、圧縮処理を施してサーバ106に送信する。それにより、端末装置107は、中継センター103のサーバ104に、ビデオカメラ109が撮影した映像、そのマイクが拾った音声の各データ（圧縮されたデータ）を放送用データとして、サーバ106、及び専用線を介して送信する。

【0038】サーバ104は、サーバ106から受信したそれらのデータ（中継用データ）を、所定のプロトコルで端末装置102に送信する中継を行う。端末装置102は、それらのデータをサーバ104から受信すると、解凍して、映像データはウィンドウ401に表示させ、音声データはスピーカから放音させる。それにより、端末装置102がリアルタイムでビデオカメラ109で撮影された内容（映像と音声）を再生する生中継放送が実現される。

【0039】上記したような生中継放送を行うことにより、式に出席できなかった人も、その式を挙げている二人の姿をリアルタイムで見ることができる。このため、その二人の門出に立ち会っているような感覚を持てるようになり、より感情移入できるようになる。この結果、その中継放送を見ている人は高い満足感を得られるようになる。

【0040】本実施の形態では、予約記録に格納された式の日時になって中継を開始するのではなく、現地（ここでは結婚式場105）での撮影の開始に合わせて中継を開始するようにしている。これは、その日時と式が実際に始まった日時とが必ずしも一致しないことが多いためである。実際には、予定より後れて式が始まったり、予定の時間内で式が終わらないといったことが多いためである。予定通りに式が行われることを前提とするのであれば、サーバ104に、予約記録に格納された式の日時に従って中継を自動的に開始させ、その中継を予約記録に格納された式の時間だけ行わせるよう

にしても良い。

【0041】次に、上記中継放送を含む各種サービスを端末装置102のユーザに対して提供するサーバ104の動作について、図7、及び図8に示すフローチャート、及び図4～図6に示す説明図を参照して詳細に説明する。

【0042】図7は、結婚式場105のサーバ106から受信したデータに対応するために中継センター103のサーバ104（のCPU201）が実行する処理の流れを示すフローチャートである。始めに、図7を参照して、サーバ106から受信したデータに対応するためのサーバ104の動作について詳細に説明する。なお、図7に示すフローチャートは、図2に示すCPU201が記憶媒体207に記憶されたプログラムを実行することで実現される。

【0043】サーバ106からデータを受信すると、先ず、ステップS701で受信したデータの種類の判定する。サーバ106が端末装置107から受信したデータをサーバ104に送信した場合、中継用データを受信したと判定してステップS702に移行する。そうでない場合には、登録用データを受信したと判定してステップS703に移行する。

【0044】中継放送は結婚式場105内の1会場のみで行うのではなく、複数の会場で並行して行うことがある。これは、サーバ106から受信した中継用データがどの会場のものであるかを認識する必要があることを意味する。このことから、本実施の形態では、どの端末装置107をどの会場の中継放送に用いるかを決定し、会場を示すデータ、及びその会場で使用する端末装置107を示すデータ（例えばIPアドレス）を対応付けて事前にサーバ104に送信するようにしている。そのことに合わせ、サーバ106は、例えば端末装置107から受信したパケットのヘッダ部の送信元IPアドレスは書き換えずに、宛先IPアドレスのみをサーバ104のそれに書き換えてサーバ104に送信する。なお、当然のことながら、それ以外の方法により中継用データがどの中継放送（会場）に対応するものであるかをサーバ104が認識できるようにしても良い。

【0045】ステップS702では、予約記録を参照して、そのヘッダ部の送信元IPアドレスから対応する中継ページを特定し、その特定した中継ページを送信した端末装置102を宛先として、サーバ106から受信した中継用データを送信する。その後は一連の処理を終了する。なお、中継ページの特定は、具体的には、例えば送信元IPアドレスと対応付けられた会場を特定し、その会場をキーとして、予約ファイルに格納された予約記録の検索を行い、その検索によって抽出した予約記録が一つであればそれに格納された中継ページ番号を読み出すことで行う。その検索によって抽出した予約記録が複数であれば、そのなかから、レコー

ドに格納された式の日時、及び式の時間、更には現在の日時を基に1予約レコードを抽出し、そのようにして抽出した予約レコードから中継ページ番号を読み出すことで行う。中継ページを受信した端末装置102は、ウィンドウ401に表示するデータの送信をサーバ104に対して要求する。このことから、サーバ104は、端末装置102に、それが要求した中継用データを送信する。

【0046】一方、ステップS703では、受信したデータ中から必須の項目のデータを抽出し、抽出したデータをキーとして予約ファイルに格納された予約レコードを検索する。なお、当然のことながら、必須の項目のデータを全て検索に用いる必要はない。本実施の形態では、会場や日時の変更などもありえることから、検索には「申込者名」及び「電話番号」の各項目のデータを用いるようにしている。

【0047】ステップS703に続くステップS704では、検索を行った結果、該当する予約レコードを抽出できなかったか否か、即ち受信した登録用データが中継放送の申し込みを受け付けたことを通知する意味を持つものであったか否かが判定する。その意味を持つ登録用データを受信した場合、判定はYESとなってステップS705に移行する。そうでない場合には、判定はNOとなってステップS709に移行し、ステップS703で行った検索により抽出した予約レコードに受信したデータを上書きした後、一連の処理を終了する。そのような上書きを行うことにより、予約レコードの内容、即ち「挨拶」や「プロフィール」を始めとする各項目のデータを随時、更新（初めての格納を含む）することができるようにしている。

【0048】他方のステップS705では、予約番号、パスワード、及び中継ページ番号を生成する。続くステップS706では、受信したデータ、及びステップS705で生成したデータを格納した予約レコード（図3参照）を予約ファイルに登録する。その登録を行った後は、ステップS707に移行する。

【0049】そのステップS707では、ステップS705で生成したパスワードをサーバ106に送信する。パスワードをサーバ106に送信すると、ステップS708に移行して、中継ページを含む各種ページ（主催者の挨拶を紹介するページ、式を挙げる二人のプロフィールを紹介するページ、図5に示すメッセージ送信ページ、及び図6に示す送金ページ、など）を作成し、ステップS705で生成した中継ページ番号と対応付けて記憶媒体206に保存（格納）する。その保存を行った後、一連の処理を終了する。

【0050】結婚式場105のサーバ106からデータを受信した場合、中継センター103のサーバ104は上述したような流れで処理を実行する。それにより、結婚式場105と端末装置102とを結ぶ中継を行い、予

約（レコード）の登録やその内容の更新を行うようになっている。

【0051】図8は、アクセス者（端末装置102のユーザ）にサービスを提供するためにサーバ104（のCPU201）が実行する処理の流れを示すフローチャートである。接続した1台の端末装置102に着目して、そのユーザにサービスを提供するためにサーバ104が実行する処理の流れを表したものであり、図2に示すCPU201が記憶媒体207に記憶されたプログラムを

10

実行することで実現される。なお、端末装置102は、例えばダイヤルアップによって公衆回線を介してISPと接続させた後、サーバ104のURLを指定して接続を指示することでそのサーバ104と接続（リンクが確立）される。

20

【0052】先ず、ステップS801では、新たに接続してきた端末装置102に、「注文」、「中継」、「確認」、などの選択（メニュー）項目（リンクボタン）が配置されたトップページを送信する。続くステップS802では、その端末装置102から、そのトップページ上で選択（クリック）した項目を表すデータを受信するのを待つ。それを受信した後は、ステップS803に移行して、ユーザの要求内容を判定する。それ以降のステップの処理は、その判定結果に応じて実行される。

30

【0053】ユーザがトップページ上に配置された「注文」を選択（クリック）した場合、その旨を判定してステップS804に移行する。そのステップS804では、選択できる商品を掲載した商品掲載ページを端末装置102に送信する。その後は、端末装置102を操作しての要求を受信し、それに応じた処理を行う（ステップS805～S807）。

40

【0054】そのステップS805～S807で形成される処理ループは、ユーザが「注文」を選択することで提供されるサービスの終了を指示、即ちステップS806の判定がYESとなるまでの間、繰り返し実行する。それにより、そのサービスでは、お返しの品としての商品の選択や発送先の指定、商品を送る人へのメッセージの指定、商品購入費用の支払い方法の選択、といったことを行えるようになっている。ステップS806の判定がYESとなると、上記ステップS801に戻り、端末装置102にはトップページを再び送信する。

50

【0055】ユーザがトップページ上に配置された「中継」を選択（クリック）した場合には、ステップS803でその旨が判定されてステップS808に移行する。そのステップS808では、パスワードの入力を要求するページを端末装置102に送信し、その後にその端末装置102から送信されるパスワードを受信する。続くステップS809では、受信したパスワードを格納した予約レコードを予約ファイルから抽出し、抽出したレコードに格納されている中継ページ番号で特定される図4に示す中継ページを記憶媒体207から読み出して端末

装置 102 に送信する。その後はステップ S810 に移行する。なお、特に図示していないが、受信したパスワードを格納した予約レコードを予約ファイルから抽出できなければ、言い換えれば、ユーザが入力したパスワードが誤っていれば、その旨を通知した後、上記ステップ S801 に戻ってトップページを再び端末装置 102 に送信するようになっている。

【0056】その中継ページには、図 4 に示すように、ビデオカメラ 109 で撮影された映像が表示されるウィンドウ 401 が配置され、その近傍には、選択項目（リンクボタン）として、「挨拶」、「プロフィール」、「メッセージの送信」、「送金」が配置されている。要求は、それらのなかの一つを選択（クリック）して行うようになっている。

【0057】式場 105 では、中継放送の対象となる式（結婚式、或いは披露宴）の開始を待って、式場 105 のスタッフ、或いは中継センター 103 から派遣したスタッフがビデオカメラ 109 による撮影を開始する。その撮影を行わなければ、ウィンドウ 401 に表示させるべき映像は存在しない。このことから、その撮影を行っていない間は、ウィンドウ 401 にはその旨を伝えるメッセージを表示させるようになっている。

【0058】ビデオカメラ 109 による撮影が開始すると、それと接続された端末装置 107 は映像、音声の各データ（圧縮されたデータ）をサーバ 106 に送信することにより、それらのデータ（中継用データ）がサーバ 106 を介してサーバ 104 に送信される。そのデータを受信したサーバ 104 は、図 7 に示すステップ S702 の処理を実行することで、受信したデータを端末装置 102 に送信する中継を行う。それらのデータをサーバ 104 から受信した端末装置 102 は、それらを解凍して、映像データはウィンドウ 401 に表示させ、音声データはスピーカから出力（放音）させる。それにより、端末装置 102 のユーザは、ビデオカメラ 109 で撮影された内容（映像と音声）をリアルタイムで見たり聴いたりすることができるようになっている。

【0059】図 4 に示す中継ページを送信した後に移行するステップ S810 では、端末装置 102 からの要求を受信したか否か判定する。そのページ上に配置された何れかの選択項目をユーザがクリックした場合、その旨がサーバ 104 に送信されることから、判定は YES となってステップ S812 に移行する。そうでない場合には、判定は NO となり、ステップ S811 に移行して、ユーザが中継の終了を指示したか否か判定する。その終了をユーザが指示した場合、判定は YES となり、上記ステップ S801 に戻る。そうでない場合には、判定は NO となり、ステップ S810 に戻り、端末装置 102 からの要求を受信したか否かの判定を再度、行う。

【0060】このように、中継ページが端末装置 102 の画面、或いはそれと接続された表示装置上に表示させ

ている状態では、ステップ S810、S811 で形成される処理ループが繰り返して実行される。それにより、端末装置 102 のユーザの要望に随時、対応できるようになっている。

【0061】ステップ S812 では、要求内容を判定する。それ以降のステップの処理は、その判定結果に応じて実行される。図 4 に示す中継ページ上で「挨拶」或いは「プロフィール」をユーザがクリックした場合、その旨が判定されてステップ S813 に移行する。そのステップ S813 では、ユーザが選択した項目に対応するページを端末装置 102 に送信する。その送信後は、ステップ S814 に移行して、ユーザの指示を受信するのを待つ。その指示を受信すると、上記ステップ S809 に戻り、中継ページを再度、端末装置 102 に送信する。

【0062】サーバ 104 は、ユーザがクリックした項目に応じて、主催者の挨拶を紹介するページ、或いは式を挙げる二人のプロフィールを紹介するページを端末装置 102 に送信する。それにより、端末装置 102 のユーザは、主催者（申込者）側が中継放送を見る人のために用意したデータに随時、アクセスできるようになっている。

【0063】図 4 に示す中継ページ上で「メッセージの送信」をユーザがクリックした場合には、その旨が判定されてステップ S815 に移行する。そのステップ S815 では、図 5 に示すようなメッセージ送信ページを端末装置 102 に送信する。その送信後は、ステップ S816 に移行して、データを受信するのを待つ。

【0064】メッセージ送信ページには、図 5 に示すように、「お名前」、「住所」、及び「メッセージ」を入力するための各ボックスや、「送信」ボタン、「キャンセル」ボタンが配置されている。端末装置 102 は、ユーザが各ボックスにそれぞれデータを入力した後、「送信」ボタンをクリックすると、各ボックスに入力されたデータをサーバ 104 に送信する。「キャンセル」ボタンをユーザがクリックすると、その旨を示すデータをサーバ 104 に送信する。

【0065】端末装置 102 からデータを受信することで移行するステップ S817 では、ボックスに入力されたデータを受信したか否か、即ちメッセージを受信したか否か判定する。ユーザがメッセージ送信ページ上の「送信」ボタンをクリックした場合、各ボックスのデータが送信されて受信することから、判定は YES となり、ステップ S818 に移行して、受信した各ボックスのデータ（メッセージ）を電子メールで中継中の式宛に送信するとともに、予約レコード中で指定されたファイルにそのデータを格納した後、上記ステップ S809 に戻る。そうでない場合には、即ちユーザが「キャンセル」ボタンをクリックした場合には、判定は NO となり、他のステップの処理を実行することなく、そのステップ S809 に戻る。

【0066】中継中の式宛に受信したメッセージを送信するのは、そのメッセージを式のなかで紹介することができるようにするためである。そのメッセージは、例えば予約レコードに格納されている式の会場を指定して送信するようになっている。

【0067】サーバ104から電子メールの形で送信（転送）されたメッセージは、サーバ106で受信される。式場105のスタッフ、或いは中継センター103から派遣されたスタッフは、端末装置108を用いて、サーバ104から送信されてくるメールをチェックし、メールの形で送信されたメッセージは、その端末装置108と接続されたプリンタ110により印刷する。印刷したメッセージは、宛先として指定された式の会場に運ぶ。そのようにして、端末装置102のユーザから送られたメッセージを主催者側に迅速に届けるようになっている。

【0068】このように、端末装置102上で入力したメッセージは主催者側に迅速に届けられるようになっているため、電報などを打つ必要はなくなる。しかも、式が行われている模様を見ることができるため、その式の状況に応じたタイムリーな場を盛り上げるメッセージを送ることもできる。このようなことから、メッセージを送る側、それを受け取る側の双方にとって利点がある。

【0069】なお、本実施の形態では、結婚式場105内で催される式を対象に中継放送を行っていることから、送られたメッセージをその式場105に転送するようにしているが、申込者が指定した送信先にそれを送信（転送）するようにしても良い。送信先は、複数、指定しても良い。当然のことながら、その送信先として携帯電話機を指定しても良い。

【0070】図4に示す中継ページ上で「送金」をユーザがクリックした場合には、その旨が判定されてステップS819に移行する。そのステップS819では、図6に示すような送金ページを端末装置102に送信する。その送信後は、ステップS820に移行して、データを受信するのを待つ。

【0071】送金ページには、図6に示すように、「お名前」、「住所」、「メッセージ」、「金額」、「カード種類」、「カード番号」、「有効期限」、「名義人」を入力するための各ボックスや、「送信」ボタン、「キャンセル」ボタンが配置されている。それにより、メッセージも合わせて遅れるようにしている。端末装置102は、ユーザが各ボックスにデータを入力した後、「送信」ボタンをクリックすると、各ボックスに入力されたデータをサーバ104に送信する。「キャンセル」ボタンをユーザがクリックすると、その旨を示すデータをサーバ104に送信する。

【0072】端末装置102からデータを受信することで移行するステップS821では、送金ページ上の各ボックスに入力されたデータを受信したか否か、即ち送金

がユーザから指示されたか否か判定する。ユーザが送金ページ上の「送信」ボタンをクリックした場合、各ボックスのデータが送信されることから、判定はYESとなつてステップS822に移行し、受信した各ボックスのデータのなかから抽出したデータ（「お名前」、「住所」、「メッセージ」及び「金額」などの項目のデータ）を電子メールで中継中の式宛に送信するとともに、予約レコード中で指定されたファイルに受信したデータを格納した後、上記ステップS809に戻る。そうでない場合には、即ちユーザが「キャンセル」ボタンをクリックした場合には、判定はNOとなり、他のステップの処理を実行することなく、そのステップS809に戻る。

【0073】ユーザが入力した金額のお金は、式場105側、或いは中継センター103側が立て替えて式場105内で主催者に渡すか、或いは申込者が中継放送の申し込み時に振込先を指定しているのであれば、その振込先に振り込むようになっている。それにより、端末装置102上から相手に容易に送金を行えるようにしている。なお、送金ページ上でメッセージを入力できるようにしたのは、送金しようとする人はメッセージも送ることも多いと考えられるためである。送金、メッセージの送信を同一ページ上で行えるようにしたこと、ページの切り換えや重複する項目へのデータ入力などが回避される。その結果、それらをより容易、且つ迅速に行うことができるようになる。

【0074】ユーザがトップページ上に配置された「中継」をクリックすると、サーバ104のCPU201は上述したような処理を実行することで中継に係わるサービスを端末装置102のユーザに提供する。そのサービスはパスワードを入力しなければ受けられないため、関係のない第三者が人を中傷したり、馬鹿にするようなメッセージを送るようなことは回避される。

【0075】そのトップページ上に配置された「確認」をクリックした場合には、ステップS803でその旨が判定されてステップS823に移行する。そのステップS823では、パスワードの入力を要求するページを端末装置102に送信し、その後その端末装置102から送信されるパスワードを受信する。続くステップS824では、受信したパスワードに対応する確認事項選択ページを記憶媒体207から読み出して端末装置102に送信する。その後はステップS825に移行し、ユーザがサービスの終了を要求してステップS826の判定がYESとなつて上記ステップS801に戻るまで、ステップS825～S827で形成される処理ループを繰り返し実行する。

【0076】上記確認事項選択ページは、ユーザが入力したパスワードを格納した予約レコードの内容を、そのユーザが確認できるように用意したものである。そのページ上には、申込者のメールアドレスや式場、式の会

10

20

30

40

50

場、式の日時、式の時間などの情報が記載されており、そのページにアクセスすることで、それらの情報を確認できるようにしている。また、要求に応じて、式場周辺の地図や交通手段、及びその式場の電話番号などの情報を提供するようにしている。

【0077】予約ファイルに格納した予約ファイルは、式（中継放送）が終了した後も、所定期間、保存するようにしている。それにより、式が終わった後でも、上述した情報を随時、確認できるようにしている。申込者（主催者）には、それらの他に、送信されてきたメッセージ、それを送信した人、送金してくれた人、その金額なども確認できるようにしている。言い換えれば、お返しの品を送るべき人を確認できるようにしている。そのような人を確認できるようにすることで、お返しの品の発送も容易に行えるようにすることができる。

【0078】なお、本実施の形態では、生中継を行うようになっているが、人によっては、急速、何らかの事情によりそれを見ることができなくなることも考えられる。このことから、中継内容を録画しておき、中継を見られなかった人には、その録画した内容を要求に応じて放送するようにしても良い。メッセージの送信や送金についても、中継が終了するまでの間に行えなかった人がいる可能性があるので、その中継が終わった後からでも行えるようにすることが望ましい。送られたメッセージはメールアドレスで指定された宛先に送信すれば良く、送金は、申込者に振込先を指定しておくことで、その振込先に振り込めば良い。中継内容をビデオテープ、或いはDVDなどの記憶媒体に記憶して、郵送などの手段により申込者が指定した人、或いはそれを要求した端末装置102のユーザに送付するサービスを行うようにしても良い。

【0079】本実施の形態では、中継センター103と結婚式場105の間を専用線で結んでいるが、それらの間をインターネット101で結んでも良い。中継センター103と端末装置102間はインターネット101で接続されるようにしているが、これは様々な場所にいる端末装置102のユーザを対象に、中継放送できるようにするためである。それらの間を結ぶネットワークは、中継放送の対象としているユーザの居住範囲、中継場所の範囲、その中継を行う対象（会場や建物、など）などに応じて、適宜、採用すれば良いものである。

【0080】中継放送は、結婚式場105で催される式を対象に行うようになっているが、それ以外の式、例えば元服、葬式、祭り、などの慶弔の儀式、或いは成人式、入学式、卒業式、運動会などを対象としても良い。現地で撮影を行うスタッフを抱えることで、専門の業者が所有する会場で行われないイベントを中継放送の対象としても良い。そのようにした場合には、サーバ104に中継放送の申し込みを受け付けさせるようにすれば、その中継放送を所望する人は随時、その申し込みを行う

ことができるようになる。

【0081】その中継放送の内容については、本実施の形態では映像と音声を端末装置102に送るようになっているが、それらのうちの一方のみを送るようにしても良い。或いは、それらのなかでどれを中継放送させるかを申込者が選択できるようにしても良い。そのようにした場合には、中継放送させる内容（映像のみ、音声のみ、或いは映像と音声）別に中継費用を設定するのが望ましい。

10 【0082】上述したようなサーバ104、或いはその変形例の動作を実現させるようなプログラムは、CD-ROM、フロッピー（登録商標）ディスク、或いは光磁気ディスク等の記録媒体に記録させて配布しても良い。或いは、公衆網等の通信回線を用いて、そのプログラムの一部、若しくは全部を配信するようにしても良い。そのようにした場合には、ユーザはプログラムを取得してコンピュータなどのデータ処理装置にロードすることにより、そのデータ処理装置、更にはそれとネットワークにより複数の端末装置が接続されたシステムに本発明を適用させることができる。このことから、記録媒体は、プログラムを配信する装置がアクセスできるものであっても良い。

【0083】

【発明の効果】以上、説明したように本発明は、申込者からの申し込みにより、現地で画像（映像）、及び音声の少なくとも一方を放送用データとして取り込み、その取り込んだ放送用データを、サーバを介して、そのサーバと接続された端末装置に送信する。このため、申込者は、その端末装置を通して、所望の中継放送をその端末装置のユーザ（放送対象者）に対して提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本実施の形態による中継放送システムの構成を示す図である。

【図2】サーバの回路構成図である。

【図3】予約ファイルに格納された予約レコードのデータ構成を説明する図である。

【図4】中継ページのイメージ例を示す図である。

【図5】メッセージ送信ページのイメージ例を示す図である。

【図6】送金ページのイメージ例を示す図である。

【図7】結婚式場のサーバから受信したデータに対応するために中継センターのサーバが実行する処理の流れを示すフローチャートである。

【図8】アクセス者にサービスを提供するためにサーバが実行する処理の流れを示すフローチャートである。

【符号の説明】

101 インターネット
102、107、108 端末装置
103 中継センター

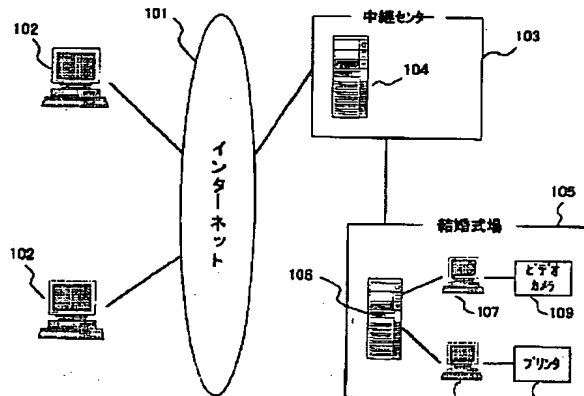
104、106 サーバ
 105 結婚式場
 109 ビデオカメラ
 110 プリンタ
 201 CPU
 202 入力部

203 RAM
 204、205 通信制御部
 206 表示部
 207 記憶媒体
 208 記憶装置

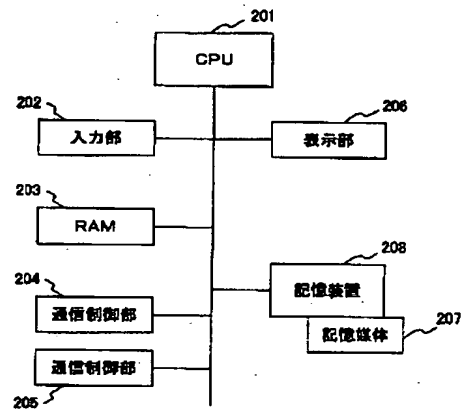
【図 1】

【図 2】

本実施の形態による中継放送システムの構成を示す図



サーバの回路構成図



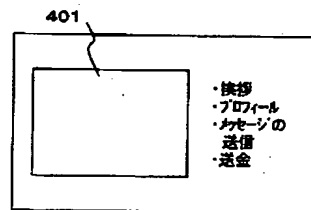
【図 3】

予約ファイルに格納された予約記録のデータ構成を説明する図

予約番号
申込者名
住所
電話番号
メールアドレス
式場
式の会場
式の日時
式の時間
挨拶
要望
プロフィール
メッセージ
送金者情報
中継ページ番号
パスワード
中継費用

【図 4】

中継ページのイメージ例を示す図



【図 5】

メッセージ送信ページのイメージ例を示す図

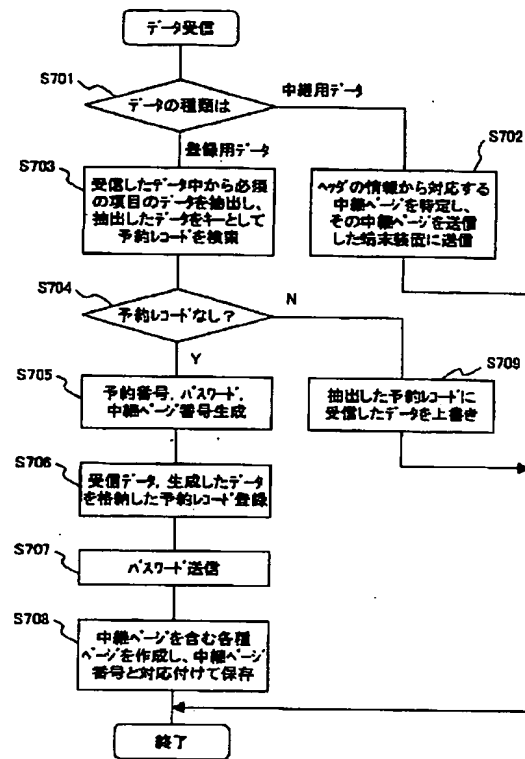
【図 6】

送金ページのイメージ例を示す図

お名前	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
メッセージ	<input type="text"/>
金額	<input type="text"/> 円
カード種類	<input type="text"/> ▼
カード番号	<input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/> - <input type="text"/>
有効期限	<input type="text"/> 月 <input type="text"/> 年
名前	<input type="text"/>
<input type="button" value="送信"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

【図 7】

結局式場のサーバから受信したデータに対応するために
中継センターのサーバが実行する処理の流れを示すフローチャート



【図 8】

アクセス者にサービスを提供するためにサーバが
実行する処理の流れを示すフローチャート

